

大阪大学発！

市民と研究者・専門家による対話イベント

HANDAI WANI CAFE



阪大ワニカフェ



日時

2025年**2月24日** (月・祝) 13:30~16:00

ゲスト

西村 高宏 Takahiro Nishimura

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻 准教授

ファシリテーション・グラフィック **近田真美子**

福井医療大学 保健医療学部 看護学科 教授

テーマ

「哲学カフェ」を体験してみよう！

「哲学カフェ」は、参加者間での会話がより促進されるように、先生や生徒、医師や看護師などといった社会・組織における役割関係をいったん解除し、フラットで気楽な対人関係のもとで進められる哲学的対話の試みのことです。1990年代にフランスの哲学者マルク・ソーテが、パリのバスティーユ広場にある「カフェ・デ・ファール」ではじめたのがきっかけとされています。難しい知識はいっさい要りません。みなさま、お気軽にご参加ください。対話のテーマは、当日、参加者の皆さんと決定します。

会場

千里文化センター「コラボ」

定員

30名 (無料)

※会場までのアクセス：裏面をご覧ください。

※空席がある場合には、当日参加も可能です。

申込



こちらのQRコードを読み込んで
Peatixからお申し込みください。



主催：大阪大学 21世紀懐徳堂、大阪大学共創機構

共催：豊中市 市民協働部 地域連携課、大阪大学大学院人文学研究科

ともに生きるための 哲学

大阪大学文学部倫理学/大学院人文学研究科臨床哲学研究室

明治期以来、日本の大学で「哲学・倫理学」と言えば、欧米中心の学説史や理論について学ぶことばかりを重視し、社会における倫理の問題を自分たちで考えるという課題には、十分に向きあっていませんでした。1990年代になって、日本の倫理学者たちは、そのような状況を批判し、それぞれに社会に向きあう道を模索してきました。こうした流れを受け継ぎ、1998年大阪大学大学院文学研究科（現・人文学研究科）に新たな専門分野として「臨床哲学」も設置されました。

ここで「臨床」という言葉で指し示そうとするのは「社会の中で問題が生じている当の場所」です。その場所を手放さず、そこから「ともに哲学する」可能性を探究すること、これが「臨床哲学」という名前の下で目指すものです。

..... 進行役の紹介

西村 高宏

1969年生。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（文学）（大阪大学、2004年）。日本学術振興会特別研究員PD、大阪大学大学院医学系研究科特任助教、東北文化学園大学准教授、同教授（大学院兼任）、2015年、福井大学医学部国際社会医学講座准教授を経て、2024年4月より現職。

〈対話〉という営みをとおして、哲学的な知の社会接続の可能性を問い直すことが現在の主な研究テーマ。哲学以外の研究者や様々な職業従事者、アーティストなどと連携し、医療や教育、災害、アートなどのうちに潜む哲学的な諸問題や、その際に必要とされる哲学臨床の作法などについて、当事者、現場の方々の言葉遣いや思考をもとに丁寧に読み解いていく活動を行なう。最近では、災害、戦禍に関わりなく、禍わざわいのただなかでさまざまな〈割きれなさ〉のなかを生きることを余儀なくされた人びとの苦しみ、ことば、思考の具合に関する研究・実践を行なっています。また、イタリアの哲学プラクティショナーらと連携し、医療やケアの現場、とくに精神保健医療福祉領域における〈哲学対話実践〉の可能性についても考察しています。

会場までのアクセス



千里文化センター「コラボ」外観

住所：

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目2番2号

電車：

- ・北大阪急行「千里中央」駅北改札から約80メートル
- ・大阪モノレール「千里中央」駅から北へ約400メートル

バス：

- ・最寄りには阪急バス「千里中央」停留所

自家用車：

駐車場のご用意はありません。

千里中央地区のコインパーキングをご利用ください。

※近隣店舗等への無断駐車は絶対におやめください。

【お問い合わせ】

阪大ワニカフェ担当
大阪大学共創機構渉外部門（担当：佐野）
E-mail：sano.keiko.ocb@osaka-u.ac.jp
※お問い合わせはメールをお送りください。



「阪大ワニカフェ」ホームページ

<https://21c-kaikokudo.osaka-u.ac.jp/banner/wanikafe>

阪大ワニカフェ

検索

